



主催：一般社団法人“人間と性”教育研究協議会  
第36回 理論と実践講座



## めて えよう！優生思想と性

神奈川県相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」での凄惨な事件（2016年）、杉田水脈議員の「LGBTは生産性がない」発言（2018年）、×フタリストDaiGo氏による生活保護受給者やホームレスの人への差別発言が軽やかに若者に共感を得てしまう現状（2021年）、さらには出生前診断が議論される現在、そこに共通してみられるのは、「優秀」な存在（遺伝子）を保護して、「劣った」存在を排除することで、「優秀」な人間だけを後世に残そうとするような「優生思想」ではないでしょうか。

「優生思想」という言葉は耳にしたことがあり、昔々に一部で浸透していた思想だと認識していたところもあるのではないのでしょうか。しかし、現在の私たちの生活のどこかに残り、静かに浸透しているものかもしれません。

また、私たちが実践する性教育にも、気づかないうちに「優生思想」が入り込んでしまっているかもしれません。「優生思想」をめぐって、現実のさまざまな出来事や文科省が推進する「生命（いのち）の安全教育」なども検討の視野に入れながら、「人権」を柱にした私たちの性教育を改めて考えてみようと思います。

開催日時 2022年2月20日（日）9:55～16:05  
（前後に主催者からの挨拶・お知らせ等があります）

開催方法 Zoomにてリアルタイム配信いたします。

参加費

全国会員：3,000円、一般：4,000円、学生：1,000円、障がい児・者：500円



講座内容

9:55 開会の挨拶・諸連絡

10:00～10:15 はじめに 「なぜいま『優生思想』か」 門下祐子さん（性教協幹事）

10:20～11:50

**第1講座 児嶋芳郎さん（立正大学 社会福祉学部 教授）**

**テーマ： 「優生思想」とはなにか**

そもそも「優生思想」とはどういう思想なのでしょう。それをめぐる政策、法律、学問はどのような歴史をたどってきたのでしょうか。

それらを通して、この思想がもつ問題点などについてお話しいただきます。

11:50～12:50 昼休み

12:50～14:20

**第2講座 雨宮処凛さん（作家、活動家、「反貧困ネットワーク」世話人など）**

**インタビュアー：関口久志さん（性教協幹事）**

**テーマ： 「優生思想」と格差社会**

**～相模原事件、そしてコロナ禍で見えてきた「生きづらさ」～**

『相模原事件・裁判傍聴記 ―「役に立ちたい」と「障害者ヘイト」のあいだ―』（太田出版,2020年）、『コロナ禍、貧困の記録―2020年、この国の底が抜けた―』（かもがわ出版,2021年）の筆者の雨宮処凛さんに、相模原事件の「優生思想」が、格差社会でのコロナ禍の「生」にどのように浸透してしまっているのかを、具体的なケースをもとにお伺いしていきます。

14:30～16:00 トークセッションとグループワーク

第1講座、第2講座の内容を踏まえて、学校での性教育実践についてのトークセッションを行ったあと、参加者のみなさんで感想やご意見、疑問などを共有するグループワークを行います。

16:00～閉会の挨拶・諸連絡

※参加申し込み方法は裏面をご覧ください。



## 参加申し込み方法

※チケット販売は2021年12月20日（月）正午に開始します。

◎Peatix（ピーティックス）という、オンラインイベントのチケット販売サイトを使用いたします。

◎チケットを購入するためには、Peatixへの登録が必要となります。

\*ご自身のメールアドレス、任意のパスワード、名前（ニックネーム可）を登録します。

◎購入代金のお支払いは、クレジットカード払い、コンビニ払い、PayPal（銀行払いができる）から選べます。

\*支払い期限を過ぎると、もう一度最初から買いなさる必要があります。

◎イベント開催前日に、ZoomミーティンググループのURL、ID、パスワードをメールにてお送りします。

### 申し込み先

下記のURLもしくはQRコードからお申し込みください

URL：<https://seikyokyorilontojissen36.peatix.com>



\*性教協ホームページからもお申し込みページ（Peatix）に移動できます。

<申し込み締め切り> 2022年2月18日（金）

### 問い合わせ先

一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局  
〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイイツ1006号  
TEL： 03-3379-7556 FAX： 03-3379-7561  
E-mail： [jimu@seikyokyo.org](mailto:jimu@seikyokyo.org)  
ホームページ： <https://www.seikyokyo.org/>

### ◎性教協（せいきょうきょう）って？

1982年に創立された一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）は、「科学・人権・自立・共生」の4つのキーワードをもとに、子どもの切実な要求にこたえ、正確な情報を伝え、子どもとともに「性」のあり方や生き方を考えて、たくさんの性教育実践を積み重ねてきた民間研究団体です。

会員は、教員・養護教諭をはじめとした学校関係者、助産師・医師・看護師・保健師などの医療関係者、児童養護施設職員などの福祉関係者、NPO関係者、研究者、学生など多彩です。

学校・地域・家庭での性教育実践を創造し交流するとともに、自分自身の性と生のあり方を問い直し、形成することができる場となっています。日本で唯一の性教育専門誌『季刊セクシュアリティ』誌(発行：エイデル研究所)を編集しています。

### ◎性教協編『季刊セクシュアリティ』のご紹介

性教協では、人間の性をめぐる教育と文化の総合情報誌である『季刊セクシュアリティ』を、年4回＋増刊号を発行しています。

2021年10月号の第103号は「包括的性教育をすすめるためのキーワード63」を特集いたしました。①人間関係、②性と社会と人権、③ジェンダーの理解、④性と暴力、⑤人間のからだと発達、⑥性的行動と性の健康、⑦これからの性教育を展望する、という7領域にあたり、63項目のキーワードを解説しました。包括的性教育を実践しようとする方には必携の1冊です！

2022年1月号の特集は『「生理の貧困」から「生理の尊厳へ」』です。お楽しみに！

●性教協ホームページから定期購読のお申し込みができます。

[https://www.seikyokyo.org/book/sexuality/sexuality\\_form.html](https://www.seikyokyo.org/book/sexuality/sexuality_form.html)

